

たきまえ  
小鹿野町滝前県自然環境保全地域

1 指定理由

本地域は、両神山と御岳山を結ぶ山稜のほぼ中央部にあり、荒川の支流である赤平川に注ぐ小森川の谷の南側山腹に位置している。

地質は、秩父古生層の砂岩地帯で、一部分がチャートとなっている。ここの植生は、シオジ・ブナ・イヌブナ等の夏緑広葉樹を主とした天然林が大部分を占めている。

本地域の中心分にある滝越沢には、小森川から約400メートル入った所に三段に滑り落ちる全長約80メートルの「丸神の滝」を含み地形的にも優れた状態で構成されており、学術的にも貴重なものであることから、これらの優れた天然林を保全し、また、これらと一体となった優れた自然環境を維持するため、県自然環境保全地域に指定し、保全を図る。

2 保全区域

所在地 小鹿野町両神小森字挽板の全域  
          //                  字滝前の一部  
          //                  字柴小屋の一部  
面積 293ヘクタール

